

# 新井自治協議会防災研修

令和8年5月21日（木）  
新井ふれあいセンター

## 1. 新しい防災気象情報について

- 変更時期：令和8年5月29日（金）に新しい防災気象情報が運用開始になる。
- 変更の目的：防災気象情報と警戒レベルの対応を整理し、住民が直感的にとるべき行動をわかりやすくするため。
- 土砂災害警報の新設：
  - レベル3「土砂災害警報」（基準到達の概ね3時間前発表）※かなり危険！
  - レベル4「土砂災害危険警報」（基準到達の概ね2時間前発表）
- 早期注意情報・時系列情報の変更：土砂災害の警報級の可能性を追加。時系列情報は毎日4回（5時、11時、17時、23時）更新へ。
- 丹波市特有の注意点：「氾濫警報（1級河川のみ対象）」と「高潮警報」は丹波市では発表されません（指定外の河川は「大雨」情報として発表）。特に注意すべき点は、洪水警報が大雨警報に含まれるため、洪水に関する情報が見逃されがちになります。キキクルを確認し、正しい防災情報を収集することに心がけましょう。

## 2. 災害情報の集め方

- 丹波市防災マップ：冊子版・Web版でハザードエリアや避難先を事前に確認
- Yahoo!防災速報アプリ：現在地に合わせた避難情報や豪雨予報を通知
- キキクル（気象庁）：大雨や土砂災害の危険度マップ。洪水と浸水のリスクが統合表示に変更
- 川の防災情報（国土交通省）：河川水位や河川カメラ（竹田川など）をリアルタイムで確認可能

## 3. 警戒レベルに応じた行動と避難

- 避難のタイミング：警戒レベル3（高齢者等避難）やレベル4（避難指示）で速やかに避難。発表前でもキキクル等を見て自ら判断を！
- 避難場所と避難所の違い：
  - 避難場所：命を守るため一時的に逃げ込む先（広いスペース）
  - 避難所：自宅で過ごせない際、一定期間生活する場所
- 風水害時の避難所開設順：①各住民センター → ②自治協議会拠点 → ③小中学校体育館 → ④その他公共施設（※補完的に自治会公民館等の種避難所の開設も検討してください。）
- 避難行動の種類：
  - 水平避難：外へ出て安全な避難場所等へ移動（早めの行動が必須）
  - 垂直避難：今いる建物の上層階や崖の反対側へ移動（夜間や外が著しく危険な状況で推奨）

## 4. 災害への備え

- 非常用持出品の準備：飲料水、食料、貴重品、懐中電灯、携帯ラジオ、携帯トイレなど、最低限のものを準備
- 浸水対策：作り置き土のうの備えを推奨（市補助金も活用できる。）
- 自主防災組織向け助成事業（事前審査必須）：
  - 防災資機材の購入：助成率8割（上限4万円 / 1年度内1回）
  - 非常用電源（発電機・蓄電池）：助成率8割（上限15万円 / 1年度内1回）

## 5. 特殊詐欺への対策

- 丹波市の現状：今年に入り約1,300万円の被害。特殊詐欺は、自然災害より特殊詐欺に遭う確率の方がはるかに高い。
- 主な手口：「JAバンク」等を騙る偽メールでサイトへ誘導し、IDやパスワード、個人情報を入力させて口座残高を引き出す手口
- 詐欺師が嫌がること

（電話編）：

- 「録音していますが大丈夫ですか？」と伝える。
- 「お宅の会社の法人番号教えてください」と尋ねる。
- 「今警察に確認しています」「家族と一緒に聞いています」と伝える。
- 「今おっしゃってることを書面で送ってください」と要求する（その際、自分の本当の住所は教えず、警察署の住所など適当なものを伝える）。
- 「録画してSNSへ出します」と伝える。
- 「上司に代わってください」と要求する。
- 相手が公的な協会などを名乗った場合、「今から公式サイトで確認します」と伝える。
- 一番の対策は対応しないこと、変なボタンを押さないこと。

（訪問編）：

- 「保証書を見せてください」と要求する。
- 「将来の交換費用はどれくらいかかりますか？」と具体的に尋ねる。
- 「今の不具合の写真を撮って見せてください」と証拠を求める。
- 見積もりが「工事費用一式」と大雑把に書かれている場合、細かく書かせる。
- 「資料を置いて一度帰ってください」と伝え、その場での契約を絶対に避ける。
- 困ったときは消費者ホットライン「188」に相談する。

# 令和8年より 気象の警報などが 大きく変わります

情報名称などが大きく変わるため、  
防災計画等の点検や見直しをお願いします。

防災気象情報  
いつ逃げる？  
**レベルで判断！**  
避難の判断がよりしやすく

【一覽表】

	河川氾濫	大雨	土砂災害	高潮
警戒レベル5相当	レベル5 氾濫特別警報	レベル5 大雨特別警報	レベル5 土砂災害特別警報	レベル5 高潮特別警報
警戒レベル4相当	レベル4 氾濫危険警報	レベル4 大雨危険警報	レベル4 土砂災害危険警報	レベル4 高潮危険警報
警戒レベル3相当	レベル3 氾濫警報	レベル3 大雨警報	レベル3 土砂災害警報	レベル3 高潮警報
警戒レベル2	レベル2 氾濫注意報	レベル2 大雨注意報	レベル2 土砂災害注意報	レベル2 高潮注意報
警戒レベル1	早期注意情報			

**POINT!** 警報・注意報の情報名に「レベル」が付記されます

◎発表される警報・注意報の名称にレベルが付記されます。避難行動と直結するレベルがすぐわかり、避難判断の目安が明確になります。詳しくは裏面に。

【変更例】  
(旧)「大雨警報」  
→ (新)「レベル3大雨警報」  
警戒レベル3 (高齢者等避難) に相当

**POINT!!** 「警戒レベル4相当」の情報は「危険警報」として発表されます

◎危険な場所から避難が必要な状況であるレベル4相当の情報が「危険警報」として発表されます。

【変更例】  
(旧)「土砂災害警戒情報」  
→ (新)「レベル4土砂災害危険警報」

**POINT!!** 河川の氾濫の危険度の伝え方が変わります (特別警報の新設など)

◎従来の「洪水警報」「洪水注意報」は廃止されます。今後は河川の区分に応じ伝え方が変わります。

【変更例】  
(旧)「洪水警報」  
→ 【洪水予報河川※】 (新)「レベル3氾濫警報」  
→ 【洪水予報河川以外の河川】 (新)「レベル3大雨警報」

◎河川の氾濫に関し「レベル5氾濫特別警報」が新設されます。  
※国土交通省または都道府県と共同で発表する洪水予報の対象河川

**CHECK!!** 線状降水帯の発生などは「気象防災速報」として発表します

◎極端な現象は新たに「気象防災速報」として発表します。

【変更例】  
(旧)「顕著な大雨に関する気象情報」  
→ (新)「気象防災速報 (線状降水帯発生)」  
(旧)「記録的短時間大雨情報」  
→ (新)「気象防災速報 (記録的短時間大雨)」



# 避難のタイミングは レベルで判断

災害が起きる前に何をすべきか、  
レベルごとにチェック！



時間推移のイメージ

数日～  
1日前

## レベル1 早期注意情報

- ・災害への心構えを一段高める
- ・職員の連絡体制を確認する

半日～  
数時間前

## レベル2 注意報

- ・ハザードマップ等で災害リスクを再確認する
- ・自治体から発表される避難情報の把握手段を再確認する

数時間～  
3時間前

## レベル3 警報

- ・避難に時間がかかる**高齢者等は危険な場所から避難する**
- ・高齢者等以外の人も必要に応じて避難の準備や自主避難

2時間～  
0時間前

## レベル4 危険警報

- ・**危険な場所から全員避難する**
- ※台風などにより暴風が予想される場合は、暴風が吹き始める前に避難を完了

災害  
発生

## レベル5 特別警報

- ・すでに安全な避難ができず、命が危険な状況
- ・今いる場所よりも安全な場所へ直ちに移動等する

## 災害の情報、 どう受け取る？



警報・注意報や気象防災速報は、テレビ、ラジオ、インターネット、防災アプリ、自治体の防災無線などを通じて伝えられます。あらかじめ情報入手手段の確認をお願いします。



## このあとどうなる？ をチェックしよう

警報等の情報が発表された際には、危険度を地図上に示したキキクルや、今後の危険度の推移を示した時系列情報（明日までの警報等の見通し）などを、気象庁ホームページで確認してください。



キキクル

▼キキクル画面イメージ 10分ごとに更新される



▼時系列情報（明日までの警報等の見通し）

全国の特殊気象情報（明日までの警報等の見通し）												
2025年02月17日17時00分発表												
北関東地方	17日					18日					19日	備考・留意する警報
	15-21	21-24	05-03	03-05	05-09	09-11	12-15	15-18	18-21	21-24		
1 特別警報(大雨)	100	100	50	50	30	30	10	10	10	10		
2 4月以降(大雨)	100											
大雨												
特別警報												
危険	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2		